

・研究公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を行う際には、患者様に対し文書もしくは口頭で説明を行い、同意書を得て実施します。臨床研究のうち、患者様への新たな侵襲や介入もなく、診療情報等の情報のみ用いる研究等については、国が定める倫理指針に基づき、対象となる患者様から直接同意を受けない場合があります。

ただし、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。

このような手法を「オプトアウト」と言います。このオプトアウトにより実施する研究について、下記のとおり公開いたします。この研究の対象となることを拒否される場合や、研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の連絡先までお知らせください。

【研究の名称】

血液透析導入時の現状と課題

【研究の責任者】

川崎 功世（透析室看護師）

【研究目的】

近年、新規透析導入患者様の高齢化が進んでおり、当院でも新規導入患者様の高齢化とカテーテル挿入による緊急導入が多いのが現状です。そこで、当院の実態調査を行い「予めシャントを作製した計画的導入」と「カテーテル挿入による緊急導入」の2群に分けて検討し、透析導入患者様のQOLを保ち、身体的リスク・心理的不安の軽減につとめ、導入前の早い段階から透析看護師がCKD教育入院や腎臓病教室・腎代替療法外来での指導教育に活かして行くための一助となる事を目的としています。

【研究期間】

2024年1月～2025年3月31日まで

【研究対象となる患者様】

2018年1月1日～2023年12月31日までの期間、当院で血液透析を導入された患者様

【研究方法】

すべての対象患者様の、上記期間中に血液透析導入時の情報を、電子カルテに記載のある診療録を利用します。

【試料/情報の他機関への提供】

一切ございません。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は院内学術大会での発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。

【本研究の資金源（利益相反）】

本研究に関し、開示すべき利益相反はありません。

【お問い合わせ先】

電話：078-231-5901

神戸労災病院 透析室看護師 川崎 功世